

平成 30 年 度

医 学 部 看 護 学 科

推 薦 入 試 等

小 論 文

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。
2. この問題冊子には、表紙を除いて問題用紙は2枚、解答用紙は2枚、下書用紙は2枚あります。これらに不備がある場合は、ただちにその旨を監督者に申し出てください。
3. 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を記入してください。
4. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に横書きで記入してください。解答用紙の所定の欄以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としません。
5. 問題冊子および下書用紙は、試験終了後、持ち帰ってください。

実施年月日
29.12.11
富山大学

下書用紙

注意：この下書用紙に記入した解答は、採点の対象としないので持ち帰ってください。

1

設問 1

A grid for question 1. The horizontal axis is labeled with 5, 10, 15, and 20. The vertical axis is labeled with 5. The grid consists of 20 columns and 5 rows.

設問 2

A grid for question 2. The horizontal axis is labeled with 5, 10, 15, and 20. The vertical axis is labeled with 5, 10, and 15. The grid consists of 20 columns and 15 rows.

下 書 用 紙



1 図1, 図2は, 日本における臓器移植のための臓器提供件数と脳死下臓器提供件数の推移について示したものである。これらの図を参考にして設問に答えなさい。

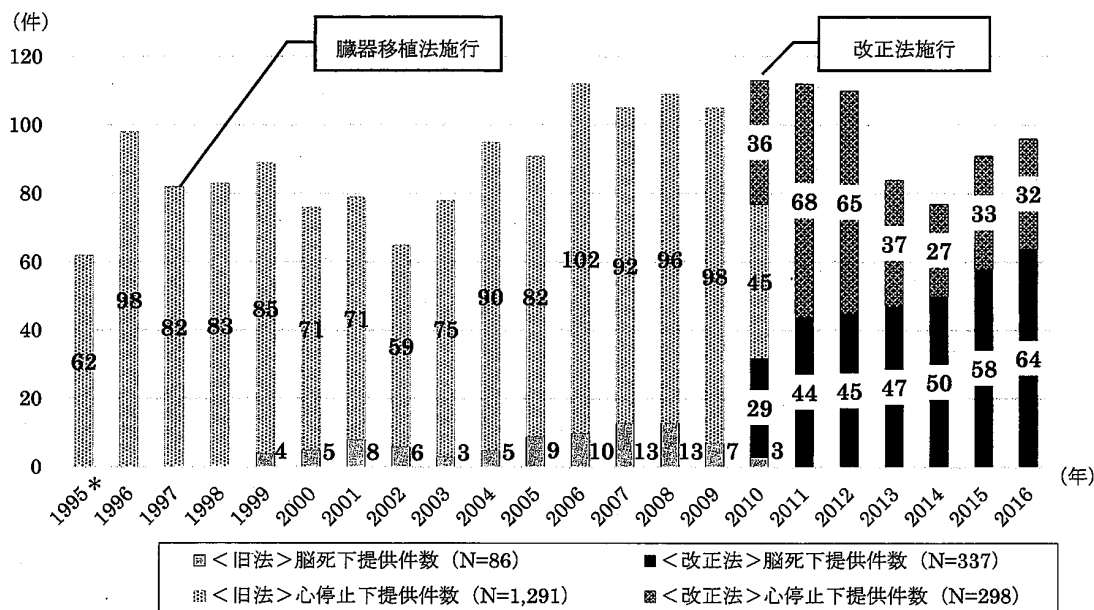


図1. 臓器提供件数の年次推移

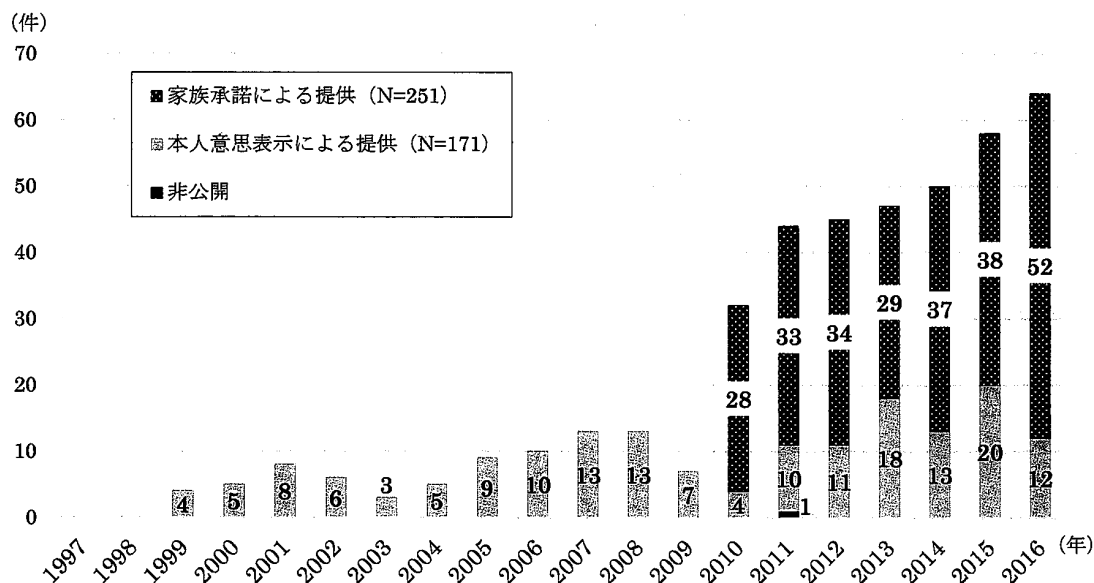


図2. 脳死下臓器提供件数の推移と意思表示  
(1997年10月～2016年12月31日)

出典：(公社) 日本臓器移植ネットワーク 移植に関するデータより引用, 一部改変  
<[https://www.jotnw.or.jp/datafile/offer\\_brain.html](https://www.jotnw.or.jp/datafile/offer_brain.html)>

設問1. 図1, 図2から読み取れる内容について100字以内で述べなさい。

設問2. 設問1での回答内容を踏まえつつ, 日本における臓器移植の現状と課題について300字以内で述べなさい。

2 次の文を読んで、「人と人との対話」は、どうあったら良いと考えますか。自身の日常生活を振り返って、400字以内で述べなさい。

### グーグルには決してできないこと

244年続いた、ある書籍版の百科事典は、2012年に地球上から消滅しました。グーグルが誕生してから24年目のことです。今、PCに向かって検索をすれば、ビジネスでもプライベートでも、勉強でも遊びでも、グーグルさえあればどんな分野の情報も瞬時に手に入れることができます。

特定の研究分野に関する記述に関しても、インターネットで十分な情報を得ることができるようになり、量も質も大学の図書館レベルに近づいているのではないかと思います。

一方、情報の価値は日増しに下がっています。そして、それによって困る人たちが出てきました。専門家と呼ばれる人たちです。専門知識を売りにしてきたいわゆる士(サムライ)業の人たちは、情報武装したクライアントに値踏みされるようになってしまったのです。

流通の現場にも大きな変化が起きています。専門店で取り扱われていた電気製品、カバンや靴、保険といった商品が、いまや無店舗販売のインターネットショップで買える時代です。小規模店が大店舗との戦いに敗れ、今度は大店舗がインターネット上の小規模な店舗の逆襲に遭っている状態です。

このように、情報の価値や身近な生活環境にまで深く影響を及ぼしているインターネットですが、人と人との対話の重要性には影響を与えていません。インターネットがなくなれば不便でしょうけど、なくなっても死ぬことはありません。でも、人と人との対話なしに、人は生きていくことはできません。

インターネットが店舗の代替になり、対話の手段がスカイプやメールに代わっても、それは手段の違いであって、人と人との対話の質を担保するものではないのです。徹底した顧客対応で大成功したインターネット通販業者・ザップスの成功は、人と人との対話の頻度が減っているからこそ、その重要性がますます増している時代を象徴していると言えるでしょう。

以前ワープロが流行った時期に、もう手書きの文章など必要なくなるという説が一般的になったことがありました。結果はまったく逆で、手書きの重要性はかえって高まりました。

出典:木村英一著:ストレスゼロの伝え方, 70-71, 2015. より引用, 一部改変

平成30年度 医学部看護学科 推薦入試等  
解 答 用 紙

(2の1)

科目	小論文
----	-----

受験番号						

1 解答欄  
設問1

		5			10			15			20	
												5

(20×5)

設問2

		5			10			15			20	
												5
												10
												15

(20×15)

採点

